

事務事業評価票〔市単独補助金〕 平成 27 年度

		担当課	福祉課				
基本事項	補助金(事業)名	島原市身体障害者福祉協会運営費補助金			整理番号	0919	
	根拠法令等	島原市福祉団体等補助金交付要綱			実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第8章 健康で生きがいある生活を支える	予算目	3 款 1 項 1 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規		
		節 第5節 障害者福祉の充実	区分	団体の運営費に対するもの			
事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	島原市身体障害者福祉協会			実施期間	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 年度まで	
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	身体障害者相互の融和を図り、その障害を克服して、共通の福祉の増進を図ることを目的に設立。 会員数190名 主な事業内容として、自主研修会、県・九州身障協会研修会参加、視察研修、県障害者スポーツ大会参加、グランドゴルフ大会やボウリング大会の開催など					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	会員相互の健全な生活が送れるよう、障害者制度などを理解し活用することで、福祉の増進を図る。 障害に関する理解を深めてもらうため、周知活動や理解活動を積極的に行う。					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	平成19年度 610,000円 平成20年度 549,000円 (対前年比10%減) 平成22年度 439,200円 (対前年比20%減) 平成27年度 396,000円 (対前年比10%減)					
事業費等の推移	年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		439	439	439	439	396
	① 団体等事業費(千円)		1,418	1,173	1,300	1,203	1,458
	② 歳入内訳(千円)	会費等	346	267	236	204	165
		前年度繰越金	600	421	567	465	422
		市補助金	439	439	439	439	396
		その他の助成金	120	120	120	120	120
その他雑収入		334	493	403	397	355	
次年度繰越金(②-①)		421	567	465	422	-	
26年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項 目			金額	項 目			金額
視察研修・市協会研修・他団体交流等研修会費			277				
県障害者スポーツ大会参加			238				
県身障連会費等			104				
総会・各種会議費等			334				
事務経費			104				
事務所電気代			108				
補助金の使途についての特記事項等							

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助成事業の効果	<input checked="checked" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	各種事業を行うことにより、会員相互の融和、障害者制度の理解・活用など、福祉の増進が図られている。
② 市の関与の必要性	<input checked="checked" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	社会的弱者と言われる障害者団体の幅広い活動に対して、市の関わりも必要と思われる。
③ 団体の事業内容や助成の在り方等の見直し必要性	<input type="radio"/> 見直しの必要はない <input checked="checked" type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	会員数の減少が続いている中で、事業経費はほぼ横ばいで推移している。団体の取り組む事業等の検討も必要ではないか。

○総合評価と今後の方向性

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">総合評価</div>	判 定	<input type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input checked="checked" type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的方向性 <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など)     → (                                     ) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む)     → (                                     )
	判 定 理 由	会員数の減少が続いている。会費収入も減少する中で、市補助金頼みになる恐れもあり、団体の取り組む事業等の検討も必要ではないか。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1～B4の場合)	課 題 見 直 し の 方 向 性 の	

◎2次評価

判 定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し ▼
備 考	会費の減少が続いており、今後も継続的に会を運営していくには、会費の増又は会員の増が急務と思われる。今後は、本会の活動に対する市民の理解を深めながら、会員増に向けた活動に取り組み自主財源の確保をお願いしたい。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)

補助額の削減  
  補助額の増加  
  補助の休止若しくは廃止  
  現状維持  
 ⇒ 予算措置額の増減     0 千円

備 考	
-----	--